

巻 頭 言

(災害に備えて)



日本 ALS 協会北海道支部
支部長 山田 洋平

「新年明けましておめでとうございます」という気持ちになれないのが、私の正直な気持ちでございますが、皆様、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

年明けに、石川県を中心として、能登半島で大地震が発生しました。この地震により、230名を超える尊い命が失われました。連日、テレビやインターネットを含めたニュースが報道されていますが、ご家族を亡くされた方の報道を見ると、胸が張り裂ける思いです。能登半島では、未だに断水と停電が続いている地域が数多く存在し、住む家を失って避難生活を強いられている方が多くいます。このたび、能登半島の地震で命を落とされた方、被害に遭われました皆様に慎んでお悔やみを申し上げます。

大地震は、いつどこで発生するか、予測はできません。それゆえ、私たちは、大地震を含めた災害を想定して備える必要があります。災害で停電が長引けば、人工呼吸器を使われている方は、電気の確保が必須になります。その際は、安定的に電気が確保できる医療機関に避難をするか、地域の電気が確保できる福祉避難所に避難するか、自宅の安全が確保されていて、ご自身が発電機を所有されておられるのであれば、ご自宅で待機される方もいらっしゃると思います。

断水になった時のために、十分な水を備蓄しておく必要があります。これは、飲み水も当然、確保する必要がありますが、下水道が破損していない場合は、トイレを流す時にも水を使います。災害に備えて、お風呂の水を、次に使う時まで溜めておくなどの災害に対する意識を常に持っていただき。さらに、災害に備えて十分な食料や、栄養を備蓄してください。そして、停電に備えてポータブルバッテリーや、ポータブル式の暖房機器と、燃料の

確保も必要でしょう。さらに、車の燃料は、意識的に満タンにしておく必要があるかもしれません。

まずは、大地震を含めた災害への対策として、ご家族やヘルパーさん、そして、ご自身のケアに関わっているすべての方を巻き込んで、災害時の対策を話し合ってください。

日本 ALS 協会は、災害時に、会員の皆様を全力でサポートして参ります。私は、引き続き北海道支部の支部長として、そして、日本 ALS 協会の理事として、ALS の同志の皆様のために命をかけて働いて参ります。

皆様、本年も宜しくお願ひ致します。